



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月13日

上場会社名 株式会社 ビケンテクノ 上場取引所 東
コード番号 9791 URL https://www.bikentechno.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶山 龍誠
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 神月 義行 TEL 06-6380-2141
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	8,417	△3.2	344	△28.0	451	△12.6	283	△10.0
2024年3月期第1四半期	8,698	△10.1	478	△50.5	516	△52.3	314	△55.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 327百万円 (23.1%) 2024年3月期第1四半期 266百万円 (△59.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	37.56	-
2024年3月期第1四半期	41.74	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	39,182	21,028	53.7
2024年3月期	41,182	20,806	50.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 21,028百万円 2024年3月期 20,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	14.00	-	14.00	28.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	14.00	-	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,500	△15.3	1,400	△34.3	1,500	△38.7	900	△31.3	119.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	7,718,722株	2024年3月期	7,718,722株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	174,966株	2024年3月期	174,966株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	7,543,756株	2024年3月期1Q	7,543,756株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるビルメンテナンス業界を取り巻く環境は、アフターコロナによる経済活動が定着し、コロナ禍前への回復が進みました。しかし、人材採用難、人件費上昇、円安進行による物価上昇に起因する原価・経費負担増等による収益環境への影響も強まってきています。

このような状況下、当社グループにおいては、本業のビルメンテナンス事業において、新たな商業施設や物流施設のメンテナンス業務等の受注増加や、コロナ禍における受注サイクルが一巡した工事部門での受注増による堅調な業績の伸びがみられます。しかしながら、不動産事業における大口の不動産売却の成立がなかったことも影響し、前年同期と比較して売上高、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が減少いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,417百万円（前年同期比3.2%減）、経常利益は451百万円（前年同期比12.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は283百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

① ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業では、アフターコロナによる経済活動が定着し、新たな商業施設や物流施設のメンテナンス業務等の受注増加や、コロナ禍における受注サイクルが一巡した工事部門での受注増による影響から、前年同期と比較して売上高、セグメント利益が増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,486百万円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益は847百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

② 不動産事業

不動産事業では、不動産の売買、仲介及び保有している不動産の賃貸等を行っております。当第1四半期連結累計期間においては不動産売却の成立がなく、前年同期と比較して売上高、セグメント利益が減少いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は164百万円（前年同期比82.4%減）、セグメント利益は35百万円（前年同期比75.6%減）となりました。

③ 介護事業

介護事業では、介護施設の運営や介護サービスの提供を行っており、入居者様・ご家族様の立場に立った高いレベルのサービスを提供しております。各施設とも引き続き、感染予防対策に重点を置きながらの営業活動となっていることから稼働率回復に時間を要しており、前年同期と比較して売上高が減少し、セグメント損失が増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は219百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント損失は26百万円（前年同期は11百万円のセグメント損失）となりました。

④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業では、サルヴァトーレ・クオモ、やきとり家すみれ、プロント、ミスタードーナツ、銀座に志かわ、ツタヤ等の店舗展開を行っていましたが、ツタヤ店舗（1店舗）を2024年1月末に閉店いたしました。ツタヤ店舗閉鎖による影響により、前年同期と比較して売上高は減少いたしました。その他店舗における業績は堅調に推移し、セグメント利益は増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は226百万円（前年同期比16.2%減）、セグメント利益は5百万円（前年同期比39.1%増）となりました。

⑤ ホテル事業

ホテル事業では、東京と沖縄で2棟のホテルを運営しております。前連結会計年度末にベルケンホテル東京を売却し、運営ホテルが1棟減りましたが、5月末までは当社において運営委託を受けていたこと及びアフターコロナの浸透による人々の移動の活性化による好業績は続いており、前年同期と比較して売上高、セグメント利益が増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は238百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益は58百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

⑥ その他事業

その他事業では、フードコート運営事業、太陽光発電事業、当社の営業活動のネットワークを生かした関連商品の販売事業等を行っております。連結子会社で製造販売している除菌水売上のコロナ禍特需はなくなり、フードコート運営事業において客足の回復がみられたものの、前期との比較では売上高が減少し、セグメント損失は拡大いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は82百万円（前年同期比3.0%減）、セグメント損失は9百万円（前年同期は8百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,000百万円減少し、39,182百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,222百万円減少し、18,153百万円となりました。これは主に、借入金の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ222百万円増加し、21,028百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日公表の「2024年3月期決算短信」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,814,978	9,509,129
受取手形、売掛金及び契約資産	4,259,331	3,968,920
商品及び製品	29,617	29,986
販売用不動産	3,032,929	3,665,534
未成工事支出金	28,584	52,737
原材料及び貯蔵品	42,971	43,266
その他	1,115,104	1,007,631
貸倒引当金	△198,279	△139,972
流動資産合計	20,125,240	18,137,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,655,609	4,618,250
土地	10,122,162	10,143,366
建設仮勘定	10,840	26,494
その他（純額）	423,229	404,934
有形固定資産合計	15,211,841	15,193,045
無形固定資産		
のれん	624,054	598,245
その他	234,910	231,497
無形固定資産合計	858,965	829,743
投資その他の資産		
その他	5,100,602	5,136,103
貸倒引当金	△114,022	△114,048
投資その他の資産合計	4,986,580	5,022,055
固定資産合計	21,057,387	21,044,844
資産合計	41,182,627	39,182,077

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,757,014	2,483,911
短期借入金	600,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,962,890	2,891,902
未払法人税等	908,712	99,129
賞与引当金	413,640	200,627
不正関連損失引当金	315,279	100,507
その他	2,738,275	3,262,665
流動負債合計	10,695,812	9,038,744
固定負債		
長期借入金	7,955,878	7,278,134
役員退職慰労引当金	246,756	245,801
退職給付に係る負債	478,174	453,315
資産除去債務	101,986	90,075
その他	897,606	1,047,537
固定負債合計	9,680,402	9,114,864
負債合計	20,376,215	18,153,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,808,800	1,808,800
資本剰余金	1,672,968	1,672,968
利益剰余金	17,425,357	17,603,029
自己株式	△78,566	△78,566
株主資本合計	20,828,560	21,006,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282,307	312,567
為替換算調整勘定	△304,598	△373,857
退職給付に係る調整累計額	143	83,527
その他の包括利益累計額合計	△22,147	22,237
非支配株主持分	—	—
純資産合計	20,806,412	21,028,469
負債純資産合計	41,182,627	39,182,077

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	8,698,718	8,417,695
売上原価	6,844,118	6,593,802
売上総利益	1,854,600	1,823,892
販売費及び一般管理費	1,375,863	1,479,413
営業利益	478,736	344,478
営業外収益		
受取利息	7,563	6,279
受取配当金	14,911	9,671
受取賃貸料	7,992	8,590
助成金収入	17,965	7,402
為替差益	66,872	74,904
その他	21,778	45,609
営業外収益合計	137,083	152,457
営業外費用		
支払利息	15,884	16,877
支払手数料	37,991	2,450
貸倒引当金繰入額	35,598	155
その他	9,384	25,618
営業外費用合計	98,859	45,101
経常利益	516,960	451,834
特別利益		
固定資産売却益	2,231	5,685
特別利益合計	2,231	5,685
特別損失		
固定資産除却損	3,760	—
特別損失合計	3,760	—
税金等調整前四半期純利益	515,431	457,520
法人税、住民税及び事業税	159,486	65,140
法人税等調整額	41,032	109,065
法人税等合計	200,518	174,206
四半期純利益	314,912	283,313
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	314,912	283,313

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	314,912	283,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,690	30,260
為替換算調整勘定	△65,133	△69,259
退職給付に係る調整額	1,687	83,384
その他の包括利益合計	△48,756	44,384
四半期包括利益	266,155	327,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266,155	327,698
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過措置及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過措置に従っております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビルメンテ ナンス事業	不動産事業	介護事業	フランチャ イズ事業	ホテル事業	計				
売上高	6,944,600	936,073	225,122	270,312	237,705	8,613,813	84,904	8,698,718	—	8,698,718
セグメント利益 又は損失(△)	775,005	146,371	△11,688	4,161	57,353	971,203	△8,131	963,072	△484,335	478,736

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フードコート運営事業、太陽光発電事業、病院経営コンサルティング事業、環境衛生事業、物販事業及び保育事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△484,335千円は、各報告セグメントに含まれていない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない業務推進のための共通費用や総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビルメンテ ナンス事業	不動産事業	介護事業	フランチャ イズ事業	ホテル事業	計				
売上高	7,486,216	164,956	219,673	226,493	238,015	8,335,354	82,340	8,417,695	—	8,417,695
セグメント利益 又は損失(△)	847,759	35,771	△26,929	5,789	58,160	920,551	△9,064	911,487	△567,008	344,478

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フードコート運営事業、太陽光発電事業、病院経営コンサルティング事業、環境衛生事業、物販事業及び保育事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△567,008千円は、各報告セグメントに含まれていない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない業務推進のための共通費用や総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	111,442千円	93,633千円
のれんの償却額	25,808	25,808